

2014年1月30日

食品ロスの削減に向けて インスタントラーメンの賞味期限延長について 2014年4月1日製造品より

日清食品株式会社(社長:三浦 善功)は、インスタントラーメン^{※1}の賞味期限を、業界団体である一般社団法人日本即席食品工業協会が定めたガイドラインにのっとり、2014年4月1日以降の製造分より延長します。

1. 賞味期限延長の意義

世界の穀物需給が逼迫する中、世界の食料生産量の3分の1にあたる13億トンの食料が毎年廃棄されており、食品ロスの削減は世界的に大きな課題となっています。「もったいない」という言葉の発祥地である我が国においても、年間500~800万トンの食品ロスが発生していると推計されています。食品の賞味期限を延長することによって、家庭でのストックなどによる賞味期限切れを含め、食品ロスの削減に寄与することができると考えられます。

また、昨今では、地震や台風などの大規模災害に対する防災意識の高まりとともに、防災備蓄食の需要が高まっています。このような中、賞味期限を延長することで、防災備蓄食としてのインスタントラーメンの価値も向上すると考えられます。

2. 見直しの経緯と内容

食品ロス削減の観点から、業界団体である一般社団法人日本即席食品工業協会は、2012年1月から賞味期限の延長の可能性について、加盟社が保存試験データを持ち寄るなどの検討を重ねた結果、少なくとも1~2カ月の賞味期限の延長が可能との結論を得ました。これを踏まえ、2013年10月8日に「即席めんの賞味期限設定のためのガイドライン^{※2}」を改訂しました。

弊社も同ガイドラインにのっとり、現在販売している商品について、賞味期限の延長ができることを確認し、以下の通り実施することとしました。

【賞味期限延長の概要】

弊社では賞味期限をカップ麺は1カ月、袋麺は2カ月延長します。

[1]開始時期

2014年4月1日以降の製造品から実施

[2]対象品と新たな賞味期限

カップ麺 : 製造日より6カ月(従来は5カ月)

袋麺 : 製造日より8カ月(従来は6カ月)

※1 サイリウムヌードル(特定保健用食品)を除く、カップ麺、袋麺

※2 参考URL <http://www.instantramen.or.jp/about/news/news131108.html>
<http://www.instantramen.or.jp/outline/outline15.html>